

1. 件名：東海第二発電所の設計及び工事の計画の変更認可申請（原子炉建屋換気系（ダクト）改造工事）に係る事業者ヒアリング
2. 日時：令和4年3月11日 16時10分～17時20分
3. 場所：原子力規制庁 8階A会議室（一部TV会議システムを利用）
4. 出席者：（※ TV会議システムによる出席）

原子力規制庁：

（新基準適合性審査チーム）

片桐主任安全審査官、皆川主任安全審査官、宮本主任安全審査官、
土居安全審査専門職

日本原子力発電株式会社：

発電管理室 プラント管理グループ 担当
東海第二発電所 副所長、他14名※

5. 自動文字起こし結果

別紙のとおり

※音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

なお、本面談については、事業者から対面での面談開催の希望があったため、「原子力規制委員会における新型コロナウイルス感染症への対応」（令和4年3月9日 第70回原子力規制委員会配付資料）に基づき、一部対面で実施した。

6. その他

提出資料：

（1）東海第二発電所 審査スケジュール（案）【原子炉建屋換気系（ダクト）放射線モニタ】（令和4年3月1日提出資料）

（2）東海第二発電所 設計及び工事計画変更認可申請書 補足説明資料（令和4年3月1日提出資料）

以上

時間	自動文字起こし結果
0:00:02	はい。原子力規制庁の土肥ですけれども。それではこれから東海第2発電所の設計及び工事計画の認可申請書に係るヒアリングの方を開催したいと思います。
0:00:14	それは資料の確認の方からお願いします。
0:00:19	はい。日本原子力発電のアリモリです。
0:00:21	それでは、資料の確認から始めさせていただきます。
0:00:25	まず、資料一番として東海第2発電所の審査スケジュール案になります。
0:00:30	こちら3月7日の週、申請概要説明と書いてございますのが本日の説明内容でございます。
0:00:36	本日は補足の4と5から、審査、申請書類審査資料の全体構成と、申請の概要についてご説明をします。
0:00:45	続いて資料の二番として東海第2発電所、設計及び工事計画変更認可申請書、補足説明資料でございます。
0:00:53	本日はこの補足説明資料を中心にご説明をします。その中でも補足4番補足5番を用いて、申請の概要及び経営について説明をします。以上です。
0:01:04	はい規制庁の土肥ですけれども説明ありがとうございました資料の方過不足なくいただいておりますのでそれでは資料の内容の説明をお願いします。
0:01:14	はい。日本原子力発電のアリモリです。それでは補足説明資料資料2番を用いてご説明をしたいと思います。
0:01:21	本日は補足の四番と補足の5番を用いて説明します。補足の4番で原子炉建屋関係ダクト改造工事の概要として、今回申請に必要な経緯、
0:01:32	ご説明をいたします。その後補足の5番を用いて、今回申請させていただいた、変更認可申請の内容について、ご説明をさせていただきます。
0:01:42	それでは、東海第2発電所から説明をお願いします。
0:01:48	日本原子力発電花井と申します。よろしく申し上げます。
0:01:56	それでは補足4、東海第2発電所原子炉立て関係だつと改造工事の概要についてと、
0:02:04	資料の方を説明させていただきます。
0:02:08	まず資料構成なんですけれどもこちらの補足4の右下には、通し番号がありません、衛藤嶋5の530。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:02:18	7 から 540 ページ、こちらの方がこの項を実施する小改造工事の概要を記載している内容となっております。
0:02:27	続きまして 541 ページから 542 ページの方は、今の任期認可の変更の件といった形で、資料の方をまとめさせていただきました。
0:02:39	続きまして 543 ページから 545 ページの方ですね。
0:02:44	こちらについては、すでに説明していた、スロッシング体操心に対する説明事項、こちらの方を、の資料を反映すると。
0:02:54	いった状態で、資料の方をまとめてあります。
0:02:58	それでは今回の説明なんすけど、この概要について今回の変更のポイント、すでに認可されている。
0:03:06	内容に対してそっからの変更の部分。
0:03:09	それ通す、必要性、
0:03:12	そういったポイントに絞って、こちらの方の補足 4 の方を説明したいと思います。
0:03:18	それでは説明させていただきます。
0:03:21	資料の方 538 ページの方、ご覧ください。
0:03:27	こちらの方が改造の概要というページの方になってまして、一番の工事計画認可時点の設計と、
0:03:36	いった項目になってます。
0:03:39	ちょっとこちらの方を説明させていただきます。2018 年 10 月 18 認可された新規制基準適合に係る工事計画の一部において、
0:03:48	延焼度や関係については、一種防護対策によって、による原子炉建屋六ヶ所スロッシング対策。
0:03:55	プール周りの配偶担保閉止であって、原子炉建屋関係の改造は計画していませんでした。
0:04:02	こちらの方でなお書きのところに記載してあるんですけども、四角枠の中の、封量、こちらの方が不足した形の負圧バランスに影響を与えることからと。
0:04:16	そういった形になっていました。
0:04:18	そちらの方が、別添の 1 参照といった形になっています。で、こちらの方の四角枠の不良、こちらについては、図中の 2 の内のダンパ、こちらの方が、
0:04:31	系統図、こちらの資料のほうに系統図が、左側に二つ、右側に一つあるんですけども、図中の、すいません。系統図右側の方ですね。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:04:45	こちらの方に丸数字で書いてあるところがあるんですけども、丸数字のところのちょっと下にポリウムダンパがあります。こちらの方で対応可能というふうにしてました。
0:04:58	そもそもこちらの方で、どのような評価をして、こちらの不良調整をすることができたのですかといった話なんですけども、こちらの方は、2011年にスターティング対策工事。
0:05:11	を実施してます。その際に、系統試験、不良確認とか調整、建屋差圧確認等を行って、塗布量、ポリウムダンパーを作動することを、
0:05:24	によって、塗布量を確保することは問題ないと。
0:05:27	いう形で、そう整理することができてます。
0:05:30	ですから2011年に、こちらの方の不良は、不良を調整するということは可能と。
0:05:39	いう形で確認がとれています。
0:05:42	それが2ページの話です。ページをめくっていただきまして、通し番号539ページですね。
0:05:49	こちらの方が改造、
0:05:51	概要3分の2といった話になってます。こちらの方、また書きのところでは、2018年10月10日に認可された新規制基準の体系が変わる。
0:06:03	工事計画の一部において竜巻対策として、原子炉建屋附属棟の外壁補強を行う計画でありました。
0:06:10	いや、あったんですけども、こちらの方コンビネーションスタッフ者の外壁補強範囲に通常関係の廃隔離弁、こちら演出、下の方にイメージ図があるんですけども。
0:06:21	①番の数①番の方ですね。
0:06:26	それと燃料取替専用関係の廃棄確認日室、こちらの方が下のイメージ図ですと、②のところですね、設置されていて、こちらの排隔離弁と、
0:06:38	体格準備室の外壁補強を計画していましたと。
0:06:43	こちらの外壁補強というのが、ちょうど青い。
0:06:48	針がついてる部分の古藤の対象となっております。
0:06:53	で、2番の工事計画認可後の設計進捗と、
0:06:57	そういった項目になりまして、工事計画認可後ですね。
0:07:01	詳細の現場確認を行いましたと。工事の施工性、副長の方も考慮してはい隔離弁で室改革塩ビ室の外壁を補強を行う場合は、
0:07:12	鉄筋コンクリート造に直接支持されてる廃却便利つす。
0:07:16	こちらのちょうど下のイメージと②のところですね。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:07:20	ビジネスの方が耐震性で優位であると。
0:07:23	廃却ベースの外壁補強を取り止め可能かを検討することといたしました。
0:07:29	こちらの方で、施工性を考慮した結果最終的に、廃却弁技術の方が耐専優位と。
0:07:38	いうふうな判断をしてくるんですけどもこちらの方は、現場確認を行って、そのA及びB両方補強可能であるというふうに、
0:07:48	両方可能であることを確認しました。しかし、再度現場を詳細に確認した結果、工事の施工性ですね。
0:07:56	施工性向上支援室の補強ということが可能か検討することとして、今回の設計段階において判断した判断ですること。
0:08:04	判断にだったと。
0:08:06	いうふうな形になっています。
0:08:09	それが539ページです。ページめくっていただきまして540ページの方ですね。
0:08:16	こちらの方が工事の概要、ポイントとなっております。
0:08:21	金戸発電所の原子炉建屋関係、これ通常関係は①と②ですね、ちょうど下の方の、左側の系統図、こちらの方も丸数字があるんですけども。
0:08:34	①と②こちらの方が通常関係のラインというふうになってます。
0:08:40	帳専用関係等、
0:08:44	言ったやつが、こちらの方の系統図と、丸数字と③と④。
0:08:51	こちらの方は、にゅ等の猶予の系統が抜けと。ですから通常関係と、燃料取替専用関係こちら2系統が原子炉建屋関係として、東海第2発電所は、
0:09:04	運用されてきたんですけども、建設以降、通常関係のみで運用してきています。それが①と②、こちらの方の系統で運用してきています。
0:09:17	で、*の一番と二番、記載してますけれども*一番で、そもそも燃料取替専用関係というものは、東海大が100万。
0:09:28	QBた所号機であって、燃料取替時において燃料貯蔵町済み燃料貯蔵プール、水頭の基幹結露水は結露発生が懸念されてました。
0:09:39	炉水への異物等購入防止の目的から換気をふやせるよう、辻に設置してます。
0:09:46	なんですけども、アスタリスク2番のところで、運開後、東海、東西関係を使用した際にとびあサービスが大きくなってプラント運用に支障をいたしました。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:09:57	当該関係を使用しないこととして、また現在に至るまで当該関係は使用されておらず、懸念されたと。
0:10:04	燃料取替時における結論等の問題は生じていないという、そういったことが整理されています。こちらの方で、都県せず、一方通常関係で使用してきたと記載してありますけれども、
0:10:17	浅利驚見では、委員会の支障が生じたというふうに記載してあります。いつの時点から燃料取替専用関係を使用しないこととしているのかと。
0:10:28	いうふうなことを考えられるんですけどもこちらの方、東海第2発電所は、運転開始1978年11月、
0:10:36	こちらに運転開始をしています。後の第1回定検ですね。
0:10:42	1978年11月運開なんすけど第1回定検は1979年。
0:10:48	行われてます。1979年、停止をして、この燃料取替専用関係を、以下使用したんですけども、それ以降、運用に支障がきていましたから、それ以降は使用していないと。
0:11:03	そういった形になってます。
0:11:06	なんで5ページ540ページの記載内容に戻ります。
0:11:12	そういったことから、最新プラント設計で燃料取替専用関係はありません。
0:11:18	2系統から1系統の改造に対して許認可申請が不要であること。
0:11:23	また1系統を改造することで、隔離弁でざっととりあえず完納ポテンシャルリスクを低減できるというふうに考えて、1系統への改造を行うことといたしました。
0:11:34	はい隔離弁紙の外壁補強を取り上げて耐震性が上である。はい隔離弁リースを使用することといたしましたという形で、こちらの方系統のちょっと改造しましょう。
0:11:45	いうふうに考えてます。ここで言うと、先ほど539ページの方で、工事の施工性を考慮した結果と、
0:11:55	形になっているんですけども、この工事の施工性を考慮したというのが、ちょうどこちらの方の系統図のところに、緑色の矢印ダクト追設箇所。
0:12:09	ところの矢印があると思うんですけども、こちらの飛び原子炉建屋内部のだく等の系統成立性とか、施工性とか、配置性とか、
0:12:21	それを買う、考えて、こちらのだく等の改造はこのルーティンをした方が一番ベストでしょうというふうに間整理することができました。
0:12:31	なんで、系統図のところの緑色の矢印をずっとこう改造するためには、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:12:38	廃棄確認Bというのが、この系統図の右下にあるんですけどもこちらの方の隔離弁につなげることで、
0:12:48	A2棟東海1系統への改造を行って、隔離弁とダクトの取り合い部からの漏えいポテンシャルリスクを低減できることが一番ベストでしょうと。
0:13:00	いうふうに考えて、こちらの系統改造を実施すると、といった形で整理しています。
0:13:10	ページめくっていただきまして540通し番号541ページのところですね。
0:13:16	衛藤丸井千葉②番③番。
0:13:20	の記載がありまして、①番については設置許可の方の記載事項を記載しております。
0:13:28	ここで、設置許可では、本文、あと原子炉建屋関係の排気弁及びダクトに関する記述はありませんでした。
0:13:38	なんで、こちらの方の4行目、記載してある通り、変更手続きに該当しないというふうに考えてます。
0:13:46	②番ですね。
0:13:47	工認本文要目表及び基本設計方針の方になります。
0:13:52	こちらの方は返却に関して放射能法の信号によって加減自動閉鎖するとともに常用関係から減少武ガス処理系に切り替えることで放射性物質の拡散を防ぐ設計と。
0:14:04	いうふうに記載ますけどもこちらの変更をすることはなく、この機能の機能が維持されることから、変更手続きに該当しないというふうに考えてます。
0:14:15	三つ目ですね、③番です。
0:14:18	外部業務範囲見直しとなった場合には、場合においても、建屋の中での影響がないということ等が把握してます。
0:14:28	なんでこちらの方、変更手続きが該当しないというふうに考えております。
0:14:34	それが541ページのところですね。
0:14:38	ページめくっていただいて542ページの方で、こちらのほう原子炉建屋関係ダクト。
0:14:44	改造に伴う許可の変更についてということを整理しました。先ほど、原子炉設置許可申請書、あと工事計画認可申請書の、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:14:55	説明を 541 ページの方で説明しました。それをもうちょっと具体的に書いた形になってます。こちらの方、542 ページの方ですねまず一つ目。
0:15:05	原子炉設置許可申請書。
0:15:08	に該当する記載については、1 (2) 括弧記載しちゃう通りで、原子炉設置許可申請書の変更手続きが該当しないと。
0:15:18	いうふうに、
0:15:20	ふうに考えております。
0:15:23	二つ目です。工事計画認可申請書ですね。
0:15:26	こちらについても、放射線管理施設の購入本部に以下の記載があるが記載事項の変更がないため、購入変更手続きが該当しないというふうに考えます。そこ、
0:15:37	そちらについては、一番下の矢印ですね。
0:15:40	当該弁の原子炉建屋放射能高の信号によって自動閉鎖する機能に変更がないことから、工認変更手続きに該当しないというふうに考えてます。
0:15:52	五島委員。ページめくりまして 543 ページ 544 ページですね、こちらの方はスロッシング対策の時に提出していた、補足説明資料。
0:16:06	図等になります。こちらの方でも、544 ページのところ、
0:16:13	旧乙 19 の 12 ポツに排気ダクト LAN 防止対策という項目があって、こちらの方からでも、一番したところですね、本対策により排気ダクトへプール水が流入することはないと、いうふうに整理しています。
0:16:31	一番最後のページですね、ダクト閉止における影響評価、こちらについても、汚染拡大負圧バランスへの影響はないというふうにし、評価はしていたんですけども。
0:16:44	予定 G を戻りまして、540 ページのところですね。
0:16:49	540 ページのところ、ダクトの施工性、
0:16:53	緑色の矢印ベッセですね、ラック等追設箇所とかを考慮した場合には、こちらの方の配下区分 B。
0:17:04	2 択とつなげた方が、こちらの運用、
0:17:09	より安全に評価できるというふうに考えまして、こちらの系統改造、
0:17:15	を実施し、
0:17:16	実施して、この工場、
0:17:19	の間、より安全な状態で、導入できるように、行いたいというふうに考えてます。
0:17:28	簡単ですが、内容は以上です。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:17:34	はい。説明ありがとうございました。それでは補足の4について、規制庁側から何か確認事項ありますでしょうか。
0:17:45	規制庁皆川です。まず補足の4の不2ページなんですけれども。
0:17:53	前回2月に1度面談をしていると思うんですけれども。
0:18:00	その時にだく等の改造工事の理由として挙げてたのが、
0:18:08	廃棄不良が不足するので、ダクトを改造しますと。
0:18:15	いうふうに事業者を説明していたと思うんですけれども。
0:18:19	それとの関係がちょっとこの2ページだとよくわからなくて、そこを説明してもらえますか。
0:18:32	はい。日本原子力発電の保証はハナイと申します。
0:18:38	右下の通し番号138ページですね、こちらの方の説明をさせていただきます。
0:18:45	まずスロッシング対策のために、こちらの右側の系統図でバスと、
0:18:54	いったところがあると思うんですけれども、これを防ぎ、ふさいで、長新宮の水が他のエリアに巻き込まないように対応をするようにしていました。
0:19:04	ここで、まず一番の工事計画認可時点、
0:19:11	2018年の段階ですね、その時の設計では、
0:19:14	こちらのバツって書いてある、ソーシング対策で編成閉塞する委託と、これを閉塞したとしても、②番の方のだ。衛藤。
0:19:27	ボリュームダンパ。
0:19:29	あるんですけれども、ボリュームダンパーを調整することで可能と。
0:19:34	いうふうになってました。
0:19:37	なんて言ったんですけれども、
0:19:41	ちょっと540ページの方、右下の五、六40ページの方にちょっと飛んでしまうんですけれども、こちらの方で、t r a c t 追設箇所と、
0:19:51	現場の詳細なレイアウトとか、卓等施工性とかを考慮すると、引間の引き回しを得るためには、ちょうど、
0:20:03	ちょっと太めの緑色をばっと追設箇所といった形があると思うんですけど、バトン忠節活動をし追設して、
0:20:13	あとは、
0:20:14	隔離弁、それを今、2系統あるんですけれども、1系統にして解決をするのが一番、漏えいポテンシャルも低く制限できることから、基本ベストでしょうと。
0:20:26	いうふうな形で考えてます。なんで、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:20:30	138 ページのところなんですけども。
0:20:34	こちらの方に戻って、まず工事計画認可時点の段階では、
0:20:39	通信対策でダクトを閉塞したとしても、②番の方のダンパーを、
0:20:46	風雨を調整することで、
0:20:48	閉塞した分のフウリヨを確保できるでしょうと。
0:20:53	いうふうに考えて参りました。実際、スロッシング対策の改造した時でも、その振りを確保するってことが確認できています。なんですけど、後々、
0:21:04	衛藤隔離弁を1系とかにした方が、漏えいポテンシャルも減るます減りますので、そういったことを改造考慮すると、ちょっとD A C等のルーティングを変更するような形で、
0:21:17	540 ページの系統図のような、緑図の、緑矢印部のダクト追設が必要で、すというふうに判明したのが、設計が進む委員形態です。
0:21:30	規制庁皆川です。すいません。まず、
0:21:33	改造後の話は全く聞いてなくて、
0:21:36	2 ページの、
0:21:40	2018 年 10 月 18 日に、
0:21:43	認可された工事計画の通りだと、ふう料亭腐食しちゃうんで、不足するんではなかっというところなんですけど。
0:21:59	うん。はい。
0:22:01	日本原子力発電の花井と申します。不良については不足、4、この数値の値を不足するといった形になってました。
0:22:18	ミナカワです。不足するけど、調整ダンパで対応することが可能っていうように説明がされていて、
0:22:28	実際対応可能ですっていう理解でいいですか。
0:22:35	はい、日本原子炉課長の花井と申しますはい。古内。
0:22:39	調整することで対応可能というふうに判明していました。
0:22:43	規制庁みなすW A Cありました。そうすると、
0:22:46	2、まず事実関係としては、2 ページで、改造何もし今回の申請の改造のようなこと何もしなくても、
0:22:57	2018 年の不認可された工事計画通り、
0:23:02	にやれば、
0:23:05	不足する分については調整ダンパで対応可能ですっていうのは事実関係としてわかりました。
0:23:13	その次3 ページなんですけど。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:23:19	これもまず事実確認なんですけれど、図2に、外壁の補強概要がある言いますけれども、これはあれですか。
0:23:29	竜巻対策として、
0:23:33	通常換気系の隔離、廃棄隔離弁、室等、
0:23:39	廃棄隔離弁B室、
0:23:42	それだけを守るための外壁補強っていうまず理解でよろしいですか。
0:23:52	人間小学生の花井と申します。はい。こちらの①と②、ちょうど青井龕の梁があると思うんですけども、それは竜巻対策、他の
0:24:04	ことを考えて外壁補強しようと。
0:24:07	いうふうに考えてました。
0:24:10	はい。その対象は、
0:24:13	①と②の外壁補強の対象っていうのは、何を守るためだったかっていうと、通常換気系の、
0:24:23	例えば②であれば、通常換気系の排気隔離弁Bで①であれば、通常換気系の排気隔離弁、A、
0:24:34	それだけを守るための外壁補強っていう理解でよろしいですか。
0:24:42	はい。日本原子力学会の花井と申します。はい。②の中の改革弁B、①の中の配下杭弁Aだけを守るようなことを考えていました。
0:24:55	規制庁ミナカワさん事実関係わかりました。
0:24:59	そこまではわかったんですけど、そこから先がちょっと全然わかんなくて、
0:25:07	2歩Ⅱの工事計画認可後の設計進捗なんですけど。
0:25:13	ここで、結局事業者が今言いたいのは、
0:25:19	外壁補強。
0:25:21	どう一つ、この①と②って外壁を超えを2ヶ所してたと思うんですけど。
0:25:27	この外形的補強を、
0:25:30	1項止めたい。
0:25:33	から、こういう改造をしますってことなんでしょうか。
0:25:41	はい。日本原子炉宛の花井と申します。はい。そのようです。その通りです。①番②番あって、あと②番の外壁、
0:25:53	法面の各隔離弁日、①番の隔離弁、A、
0:25:58	を守るために、この青い梁を改造するというふうに考えていたんですけども、そもそも、こちらの②のところですね、②っていうのはちょうど丸2っていう数字の下はコンクリートの基礎となっております。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:26:14	②の方は、
0:26:16	②の方の隔離弁は、基礎の部分が、鉄筋コンクリート製不熱でより安全性が高いと。
0:26:24	そういった形になっていまして、①番の方では、ちょうど青い入ったやつが、①番のところでも、ちょうど縦横無尽にあると思うんですけども、あとその下の下の方。
0:26:38	①番で四角は食う書いてある、下の方もやはり、
0:26:44	囲われているんですね。そうすると、鉄筋変え鉄筋による廃棄が、縦横無尽は、
0:26:52	施行されているんですけども、①番をやるよりも②番の方が、木曾の方が鉄筋コンクリート製で、江藤午後されている隔離弁となりますんで、より耐震性で有利であると。
0:27:06	いうふうに考えて、2番の方だけを、
0:27:10	②番の方だけの隔離弁を運用して、漏えいポテンシャルを削減できた方がより安全ですねというふうに考えて、このような、
0:27:21	系統運用にしたいというふうに整理しました。
0:27:28	規制庁皆川です。
0:27:32	ちょっとまだよくわかんないんですけど、すみませんスッパワポの説明でも書かれていますし、先ほど説明もしてたんですけど、この耐震性で優位ってどういう意味ですか。
0:27:48	はい。日本現象でのハナイと申します耐震性で有意というのが、ちょうど②番。
0:27:56	②番のところでは、ちょうどL型で、衛藤。
0:28:05	L型で校長と井戸川ってある。
0:28:10	いろいろ変わっている丸井円柱状のやつなんですけど、これがダクトなんですよね。
0:28:15	ダクトがあって、ダクトの、
0:28:19	②番の青い梁で囲われたところに隔離弁があります。ちょっとこの隔離弁のましたが、ちょっとすみませんこれ見えづらいんですけど、基礎の部分がコンクリート鉄筋コンクリート製というふうになっています。
0:28:34	①番のところでも、ちょうど青い
0:28:38	縦横無尽に走ってるはり、こちらの中に隔離弁があるんですけども、ここは基礎の部分が、鉄筋コンクリート製ではなくて、
0:28:48	ちょうど歳入下の方に行っている、鉄筋の梁、こちらの方で囲われている状態になります。なんで、耐震性については、②番の方が、と。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:29:02	基礎が鉄筋コンクリート製で、原子炉建屋と一体になってるものですから、より耐震性はこちらの方②の方が優位です。
0:29:12	なんで、②番の方の系統を、を活用して運用していきたいと。
0:29:18	いうふうに考えているのが、事実関係です。
0:29:23	規制庁皆川です。ちょっとまだすみませんよくわかかわかんないんですけど、まず、この外壁補強ですか、この②と①って、
0:29:34	耐震性所を、今ってどういう扱いになってるかちょっと私よくわかんないんで説明してもらっていいですか。
0:29:49	日本原燃の、日本研修松野花井と申します。申し訳ないです。耐震性。
0:29:56	耐震性はどのようになってますかっていう。
0:30:01	ご質問の意味は、この青い梁の部分の耐震クラスはどのようになってますかと。
0:30:10	規制庁ミナカワさん。
0:30:18	東海第2発電所さんマイクミュートをお願いします。
0:30:24	あれですかこの外壁補強部分って、
0:30:29	何かよくわかってないんですけど、例えばS sで持つ必要があるとか、そういう要求、そういうなんですかね。
0:30:38	そういう整理に今なってんでしたっけ。ちょっとそこを教えてもらっていいですかねまず。
0:30:46	日本現象発生の花井と申します。S Sとかではなくて竜巻対策。
0:30:54	こちらの方の影響で、次、①は②番のところですね、補強が必要ですよ。
0:31:02	いうふうになってます。
0:31:14	規制庁宮尾ですけど今言われたのは何、耐震性ではなくて強度っていうことを言われてる、何か耐震性ってここ耐震性で優位であるって書いてあるんだけど、今竜巻の話って言われたのは強度の話って言われてるような気がするんだけど。
0:31:29	どっちですか。
0:31:36	はい。日本原子炉へのハナイと申します。はい。こちらの方の②番の方で竜巻対策のために補強、外壁の補強をする対象になっています。なんですけど。
0:31:49	ちょうど、丸井千葉さんと②番。
0:31:52	あって、②番のあるところが減少建てやあの一体のものとなる、基礎の鉄筋基礎が鉄筋コンクリート製ん指示されているんで、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:32:03	より、②番の方がより安全性が高い、安全性が高いのでこちらの配下苦言Bの方を系統運用したいと。
0:32:13	いうふうに考えてます。
0:32:17	すいません。よくわかんないんですけど、ちょっとちゃんと説明していただきたいと思ってますけど。
0:32:25	大井。
0:32:28	外壁補強は、竜巻対策のためにやります。
0:32:34	竜巻対策なんですけど、その竜巻堆積、
0:32:39	竜巻対策として立てるこの外壁補強青い鉄筋部分っていうんすかね。
0:32:47	それは耐震性上何か要求がかかっているかどうかのちょっと確認をしたいんですけどもまずその回答をお願いしますか。
0:32:59	はい。日本現象発生の花井と申します。こちらの方の耐震については中の隔離弁、系統の隔離弁については、耐震性の方まで求めますけども、
0:33:12	外壁の方については耐震性の方、求められる対象とはなっていません。
0:33:28	日本原子力発電のアリモリです。ちょっと東海第2発電所さん説明を確認したいんですけども。
0:33:35	この青の梁っていうのは、ここ耐震性って書いてますけども、耐震性ではなくて、その竜巻防護の、その強度をやるためであって、
0:33:48	耐震を何かこれ、これがないと、保てないとか、そういうことではないということでもいいでしょうか。
0:33:58	日本原電の、日本現象は津野花井と申します。はい。こちらの方を、539ページの2ポツで、耐震性であることからというふうに書いてあるんですけども。
0:34:12	②番①番と二つあって、土肥。
0:34:16	竜巻対策のために②番のところは、衛藤。
0:34:23	大変補強をする目的となっております。目的となっているんですけども、より安全様木曾の方がより、
0:34:35	鉄筋国営増資、直接支持されている方がより安全性が高い。
0:34:41	躯体になりますので、そちらの方を選んで、
0:34:45	2番の方へ案で、と。
0:34:48	2ファンの方だけを、の隔離弁を使って系統運用したいと。
0:34:57	いう考えです。
0:34:59	規制庁宮本です。ちょっとね、事業者の方でよく説明は整理してください。我々その系統を片方にすることを前提に今しゃべってるわけではありませんまず。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:35:11	まず、既許可。
0:35:13	気にせん。
0:35:16	2018年に認可を受けた内容に従って、工事は可能か可能じゃないのか。
0:35:23	でした。それに基づいてどういうふうな工事をしなければならない現状に立って、この①②があるのかっていうのをまず説明していただかないと。
0:35:34	それを踏まえてじゃあ理由があるのでじゃ②だけにします①だけにしますっていう議論になると思うんだけど。
0:35:41	まず我々が確認したいのは、
0:35:45	まず2018年に認可した内容に基づいて、工事ができてできるのかできないのかっていう前提の、まず、
0:35:55	考え方ですね。
0:35:57	それを説明していただかないと、先進まないですよ。だから今言ったように、今0102どっちかではなくて①②に求められている。
0:36:07	強度なのか、耐震性山のかっていうのは一体何なんだっていう質問をに明確に回答していただかないと、先進まないのでもそこを説明いただきます。
0:36:24	日本原子力発電の花井と申します。
0:36:26	それと①番②番なんですけども①番と②番については、
0:36:33	あくまでも竜巻大差食うとしての対策で外壁補強を求められますけれども、
0:36:41	耐震性。
0:36:43	耐震を保つための回避補強をやるというわけではありません。なんで、こちらの方へ、
0:36:52	2018年の考え方ですね、2018年については、①番②番、両方ともに外壁補強を行うと。
0:37:03	いうふうな形で考えていたんですけども、最新の系統構成ですと、排気隔離弁、こちらの方は1系統。
0:37:15	があることが漏えいポテンシャルも少なくなることから、隔離弁、Dが入っている間には、
0:37:23	②番のところだけを、補強をすることで、より安全性が高まると。
0:37:30	というような考えで、今回、こちらの方の申請になってます。
0:37:35	規制庁ミナカワすみません、
0:37:38	耐震性で確認したかったのは、その建屋の耐震性の補強に対して、青枠が必要ですか、そういう話じゃなくて、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:37:49	竜巻対策として、
0:37:51	この青枠が必要なんですと。そしたらその竜巻対策とした青枠って、耐震性上何か、
0:38:02	満たさなきゃならないものがあるんでしょうかどうなんでしょうかっていうところがちょっと私よくわかんなかったんで、
0:38:08	まず事実関係として、確認したいってそういうとこなんですけど、例えばですけど、
0:38:15	S sが来たときに、波及的影響を、
0:38:19	ちゃんと持つように、0102とも、
0:38:22	なってます。
0:38:24	2018年当時ですね。
0:38:26	なんかそそういう意味で、耐震性上、この①とか②とかって、
0:38:32	どのような整理になってるかっていうその当時の説明内容なりをまず確認したいんですけど。
0:38:50	はい人間性の館野花井と申します。耐震性の話ですね。
0:38:54	耐震性の花Cについては、こちらの青い梁の部分については要求はされてません。
0:39:03	されてません。なんでこちらの方で要求耐震性で要求されているのは、②番。
0:39:12	②番の何か①番の中には、は、隔離弁、原子炉建屋換気系の隔離弁が入ってるんですけども、隔離弁については、耐震性を要求されてます。
0:39:25	ですけど外壁となるこの青い範囲の部分、こちらについては、耐震性は要求されていなくて、あくまでもより頑丈にするという目的では竜巻対策としての、
0:39:37	要求事項から補強すると。
0:39:42	というような考えになってます。
0:39:46	規制庁皆川です。とりあえず事実関係はわかりました。もしそうだとすると、
0:39:54	そこから先がまたよくわかんなくて、
0:39:58	何で耐震性で優位だから、
0:40:02	ピースにしますっていう話が出てくるんですけど。
0:40:10	はい。日本現象型の花井と申します。衛藤リースの方が耐震性が優位であるっていう形なんですけど①番がちょうど、
0:40:21	青井針が囲われているところと、あと下の方、建屋の地盤面ですね、あちらまでずっと梁がある状態で、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:40:34	②番についてはちょうど原子炉建屋のコンクリートを鉄筋コンクリート製、その気相についての状態になってます。3001番と②番比較すると、
0:40:47	①は②番の方がより耐震性もすぐれて、そのてっキーと針の、
0:40:59	内容を梁の改造する範囲も少なくなることから、こちらの方が一番ベストでしょうと。
0:41:06	いうふうに考えた次第です。
0:41:08	規制庁皆川です。今事業者の説明を聞いてると、
0:41:13	いや何かあくまでベター論しか言ってなくて、
0:41:17	変えなきゃならない理由がよくわかんないんですけど、2018年の計画を、
0:41:33	はい日本原子力発電の花井と申します。廃止されて耐震性の良い話だと思うんですけども、私の方、
0:41:42	そもそも、①番と②番ですね。
0:41:46	①番の質、あと②番の美術両方とも耐震性とやつはあるんですけども。
0:41:53	鉄筋コンクリート造の方が、②番、BSの方が若干耐震性が優位だため、このような記載をしている。
0:42:03	しています。
0:42:08	規制庁見本ですけども、ちょっと先から回答があつて全然まとめてないんでちょっと他の方でわかれば回答していただきたいんですけど。
0:42:20	ちょっと我々は、ちょっと繰り返しで申し訳ないんだけど、確認したいのは2018年に認可した内容通り、
0:42:28	なぜ工事ができないんですかと。
0:42:31	要は、封量も、例えば2ページで言うと不漁調整によって対応は可能ですと。
0:42:38	3ページに行くと、要はそもそもSE部が工事を計画していたと。
0:42:44	2ポツで外壁補強を、計画通り施工してくださいと。
0:42:51	施工できない理由は何かあるんですかって言ったときに、その理由がさっき先ほどからちょっとよく説明されてなくていや、もう系統1系統にするのでっていう、この回答しかもらってないんだけど。
0:43:05	そもそも工事計画通り工事ができないんなったりしたからこそこれ出てきたのかなっていう認識だったんだけど、そうではなくて工事計画通りできるっていうことなんですか。ちょっとそこを教えてください。
0:43:37	はい日本原子炉安全の花井と申します。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:43:40	①は2番、両方とも外壁補強するというのは、
0:43:48	①は何も全部針を改造して、耐震補強するというのは可能と。
0:43:57	いうふうになってますんで、2018年10月に申請した通りの内容では、実施記載、申請事項通り改造すること。
0:44:08	できます。
0:44:10	規制庁宮尾です。であれば、その通りやってください。
0:44:21	日本原子力発電のアリモリですけども、ちょっと東海第2発電所の今の説明だと、今回工事計画変更認可申請をしていますけども。
0:44:33	なぜ、
0:44:34	付公認で工事ができない。
0:44:37	理由、変更が必要な理由っていうのは、今この耐震性が優位というところの、ベターのところ。
0:44:45	の説明でしかないのですよね、ここが、
0:44:48	なぜ既工認の工事計画で通りできず、今回改造が必要なのかという説明を、
0:44:55	お願いをしたいんですけども、そこを整理して説明できますか。
0:45:07	はい。日本原子炉予定の花井と申します。現場、すいません。①番2番ですね。
0:45:15	①番②番を比較しました。比較して、539ページのところに、工事の施工性、要は、すいません。どうもアリモリです。花井さんよろしいでしょうか。
0:45:29	はい。
0:45:31	今、確認をしているのは、①と②のどちらが選択できるかではなくてです、今城工認、既認可を終えている工事計画で、実施が、
0:45:45	できなくて、今回申請をしなればいけない理由を、確認してるんですけども、そこを整理して説明できますでしょうか。
0:46:14	はい。日本原子力の花井と申します。すいません。ちょっとそこ方向の、今のこの資料では、ちょっと読み取りづらいということを把握しました。こちらについては、
0:46:24	大変申し訳ないですけど、次回整理して説明すると。
0:46:29	確認さしてください。
0:46:32	規制庁の宮本ですけどもちょっと私の方から補足をしておくと。
0:46:36	前回RHRの配管関係は貫通スリーブを並行編入したときの理由っていうのは、要は、直管をT化にしなければならぬとか、要は設置した場合に、設置不可のために、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:46:52	変更させ、変更したいという変についていう申請がもともと出てきたので、その時は、既工認通りできないのが明らかなのでそれは、当然、定款を直管をT化にするとかそういう話ってのは当然、
0:47:06	変に要望の変更になりましたという、多分経緯があったので、それは我々の方で審査して処分しましたと。今回は、
0:47:15	今聞いている内容が、
0:47:18	記録に既工認、
0:47:20	認可されたものがないからというのか、その辺がよくわからないので、そこを明確にした上で説明していただかないと、審査の前提が、
0:47:31	よくわからなくなるのでそこは整理してくださいということなんで、そこは大丈夫でしょうか。
0:47:40	宣言書等のハナイといいますか、おっしゃる意味、把握しました。
0:47:47	次回整理して説明するという形にさせていただきます。
0:47:50	はい。規制庁宮です。よろしくお願いします。
0:47:56	規制庁皆川です。基本的には多分そこを整理してもらって、
0:48:02	経営からじゃないと、何かその差キーもあんまりあれなので、
0:48:08	なんですけどすみませんちょっと気になる場所、もう少しだけあるので、そこだけちょっと聞かせていただきたいんですけど、補足の4-6ページ。
0:48:20	設置許可申請書の伝播値なんですけど、ちょっと解釈の仕方を教えていただきたいんですけど。
0:48:31	(1)、常用関係と、空気冷却装置で、二つ目ですかね。
0:48:39	環境の建屋入口及び出口ダクトはそれぞれ2系統を有し、それぞれに空気作動の隔離弁があつてと記載されているっていうのが、
0:48:49	この資料による等、今の許可の、テンパちいの記載なんだと思うんですけど。
0:48:55	そこ事業者の今回もし仮にその工事をした場合改造工事をした場合に、当該弁及びダクトが撤去された状態であっても上記の記載に変更はないってあるんですけど。
0:49:08	変更の姿が多分4ページですかねパワポの4ページにあつて、
0:49:13	ずさんだと思うんですけど、そこそこその改造も、
0:49:18	まず入口、出口ダクトのそれぞれ2系統ってどこですかっていう話と、それに対してそれぞれにこの空気作動の隔離弁ってどこですかっていうのを教えてもらっていいですか。
0:49:38	はい日本現状0ハナイと申します。540ページの方で、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:49:44	通し番号 140 ページの方で説明させてください。こちらの方で
0:49:52	環境現象家庭口及び打撲等はそれぞれ 2 系統有しという記載なんですけれども、ちょうどこちらの方の図 3 のところ、
0:50:03	一番左しちよいえと左下からですね、シー斯拉ッシュ s 送風機と、
0:50:10	言ったやつがあってこれが送付元の送付元となる損益となります。こちらの方も損益は、
0:50:20	1 台 2 台、2 系統あるんですね。
0:50:24	2 系統あって、それぞれそれぞれダクトが 2 系統もありますので、入口側については、それぞれ 2 系統を有しと。
0:50:36	で、今度排気側ですね、こちらの方の図 3 の系統図と、一番右下のところにシースは CS 排風機と。
0:50:47	いうふうな、そういう記載しております。こちらについても、入ってくる側で、衛藤宗議員。
0:50:57	2 台ありますから、こちらの方も、あと 2 系統ありますというふうに、こちらの方では、なんで、そちらの方の出口ダクトはそれぞれ 2 系統有しと。
0:51:12	いうふうに書いてありますので、記載に変更はありませんね。
0:51:16	というふうになってます。あとそれ、あともう一つ、2 項の空気作動弁の隔離弁があってといった話なんですけれども、こちらについても、
0:51:27	540 ページの図 3 の方から、左下、CS 送風機のところの下流側、A をといった形があるんですけど、これは吸気隔離弁、ですね。
0:51:39	これにあります。なんで計器側については、2 台あります。
0:51:44	排気側は隔離弁の方でも、海脚弁 B で運用しようとしてるんですけども、はい隔離弁は、衛藤営業弁が 2 個ついていますので、
0:51:55	それぞれ排気隔離弁であっても空気作動の隔離弁が 2 個ついていると。
0:52:02	いうふうに整理できますので、記載事項の変更に記載に変更はないと。
0:52:10	いうふうに考えています。以上です。規制庁皆川です。ちょっとよくわかんなかったんですけど、まず、ちょっと教えて欲しいのは、
0:52:18	原子炉建屋入口ダクトの 2 系統で、どこなのかって教えてもらっていいですか、ダクトの 2 系統。
0:52:32	はい。日本原子炉清野花井と申します。原子炉建屋入口のダクト 2 系統というのが、ちょうど 40 ページ。
0:52:44	系統ですと、送風機が 2 台あります。送風機出た直後、
0:52:51	もうやっぱり蛇行ところがあってこの、
0:52:55	落藤ところが、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:52:57	原子炉建屋入口のダクトと、
0:53:01	それが2系統を有しと。
0:53:05	いうふうに整理しています。
0:53:10	規制庁ミナカワ性等、
0:53:13	その時にごめんなさい改造の仕方がよくわかんないんですけど、図3で言うと、
0:53:20	①のラインはいいとしてこの③のラインの改造がよくわかんないんですけど、これってな、どういう感じなんすかダクトとしては、
0:53:31	ファクトとしては残るんですか。1系統として数えられる。
0:53:36	ってことなんでしたっけ。
0:53:42	はい。日本原子力発電の花井と申します。
0:53:45	衛藤。
0:53:47	ちょうど都丸さんの方ですね、ちょうどマスキングしてあると思うんですけども、こちらのところの系統に、
0:53:54	吸気隔離弁、Bといったか立入の、onついているんですけども、ちょうどこちらのところにも、バツ閉止箇所と、
0:54:08	そういったところが系統上あります。なんでこちらの方、燃料取替時専用換気吸気ダクトになるんですけども、こちらの方は、衛藤。
0:54:20	は必要ないというふうなことになるんで、整理できるんで、撤去をします。
0:54:26	いうふうに考えてます。
0:54:32	規制庁ミナカワそそのときに、
0:54:34	何だっけ。
0:54:36	店舗地の入口額等はそれぞれ2系統を有していうとの関係がよくわかんないんですけど。
0:54:43	で、かつ、それぞれにこの空気作動の隔離弁があって、
0:54:48	という姿と。
0:54:50	4ページって同じなんでしたっけっていう。
0:54:53	何か今の説明を聞いて、
0:54:57	見る限りだと。
0:54:58	あれなんか天端ちょっと違うんじゃないって思ったんですけど。
0:55:02	そこはいかがでしょうか。
0:55:11	はい。日本経営者前の花井と申します。そちらの方も、給気側のだとか、鳥井は撤去しようとしてますけども。
0:55:21	伴の出口送風機の江口新井田小疇。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:55:26	トウェアの調布市ためもありますし、江藤下側の2台目もありますし、ダクトとしては2系統ありますと。
0:55:36	いうふうに読み取れるんで、それぞれ9機関の誘致ダクト及び排気ファンの電気柵と、それぞれ、
0:55:43	2系統ありますよと。
0:55:46	2系統の解釈と、いうふうに、
0:55:50	542ページの記載カラーは変更ありませんねっていうふうに考えてます。
0:56:02	原子力規制庁のミヤモトですけど、まずね。
0:56:06	読めます読めませんねっていう話ではなくて、そもそも既許可で言っていた。
0:56:11	この6ページで書いてある(1)の系統構成をそれぞれ当てはめたときに、
0:56:18	この④の丸で4ページの図3の、
0:56:23	変更は、変更後の姿というところと合致してますかって言ったら私はしてないように見えるんだけど、それはしてるという判断を事業者がしてるってことですか。
0:56:41	はい日本現象建ての花井と申します。
0:56:44	こちらの日本原電ではそのように、
0:56:49	2系統ありますよというふうに、仙波千野朴木サイトウ読めます。戸部。
0:56:57	榎さん通りちょっともう少し言うとね、例えばね環境原子炉建屋入口及び出口のドクターはそれぞれ2系統で、
0:57:05	これは入口2系統と出口2系統を有していることなんだけど、それを、この図の3で説明しております。入口はどれとどれが2系統で、
0:57:15	出口がどれとどれが2系統になります。
0:57:22	はい。日本原子力発電の花井と申します。はい。入口については、
0:57:29	図3の方で言うと、CS送風機、こちらの方の、
0:57:38	衛藤伴のイメージ図があると思うんですけども、その出口、
0:57:43	X方向にちょっと飛び出ているところ。
0:57:47	あと下の方のCS送風機、こちらの方も、保管本体のところちょっと水平方向に、ところ、ここのところが、
0:57:58	それぞれ2系統。
0:58:01	というふうに考えてます。
0:58:10	多分、規制庁秒ですけど、それ。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:58:14	規制庁宮尾ですけど、それ図3をに基づいて、それは、
0:58:21	こう私普通に考えればね。
0:58:24	ここで言うと①は1系統しか残らないと思うんだけど。
0:58:29	入口が二つあるから1DKとのままですっていうことを言われてるってこと。
0:58:39	人間じゃないと思います。はい。おっしゃる通り、入口がありますから2系統ありますというふうに考えてます。
0:58:50	ファクトリ系統ですよ。
0:58:56	ダクトが2系統ですよ。
0:58:59	ダクトの2系統は、
0:59:03	そういう数え方するんですけど。
0:59:12	はい。日本現象は津野花井と申しますはい。こちらの方も、明確にダクトで施工されてますので、ダクトが2系統と。
0:59:22	覚えてました。規制庁皆川ですけど。いや普通に考えたらですよ。
0:59:27	通常系統。
0:59:29	燃料取替時、
0:59:31	その2系統ってことなんじゃないですか。
0:59:41	かつ、それぞれのラインに隔離弁を2個ずつ置きますってというのが、
0:59:47	今の許可の原発の記載なんじゃないんでしょうか。
0:59:51	いや正しく、正しくですよ。補足4の、
0:59:55	2ページの
0:59:57	2018年に認可を受けた、この姿。
1:00:01	が、今の店舗と整合してるんじゃないかなと私は思ってるんですけど、違いますか。
1:00:12	日本原子力ではないと思う。花井です。
1:00:16	そのようにとれることも考えられるので、ちょっと記載の適正化。
1:00:22	を実施したいというふうに思ってます、思います。何で
1:00:27	添付資料8、
1:00:29	記載の適正化のため、別案件で設置許可の変更手続き際に合わせて、
1:00:35	保存添付資料のハッチを変更するため、
1:00:39	変更しようと思えるというふうに考えて、
1:00:43	今回の編入対応とはちょっと別で進めていきたいなというふうに考えます。すいません。東海林泰先生、日本原子力発電のアリモリですけども。
1:00:53	ちょっとここで、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:00:56	今、設置許可をどうするということではなくてもう少しここは楽との今、
1:01:02	この排風機の図の3の中からでしか説明していませんけども、その2系統の妥当のところがどういうことなのかというのが、この図でわからないのであれば、ちょっと。
1:01:15	どういう考え方でそれを整理したのかっていうのをちょっと一旦まとめてから、説明という形にさせていただきたいと思います。
1:01:30	東海第2発電所さんよろしいでしょうか。
1:01:36	はい二本木品田花井と申します。はい、了解いたしました。
1:01:42	規制庁は規制庁のミヤモトですけど、さらに言うかね。
1:01:45	4ページで、事業者が出したやつが、1系統2系統から1系という改造にするって言うてるにもかかわらず、
1:01:55	テンパチュウワリ系とそれは変更ありませんっていうのはもうそもそもそごがあって、
1:02:00	今の説明が全く合致してないですよ。だからその辺をよく事業者の中で確認してから説明していただかないと、我々ちょっとそれだと今の回答だってもう本当によくわからないので、
1:02:13	その辺よく確認してもらえますかね。
1:02:21	与儀町長の花井と申します。はい、了解いたしました。ちょっとさ、確認して。
1:02:28	節説明さして。
1:02:35	違う。そうですね。了解しました。今回3についてはちょっと、次回整理して説明するというふうに確認させてください。
1:03:07	規制庁の片桐です。ちょっと原発の記載についてあったんですけど
1:03:14	補足のパワーポイントの6ページでアノラック等の話の上に、
1:03:20	予備班1台を起動させ、封量を増大するっていう書いてるんですけど、したの説明だと、このダンパーの開度調整により不良の増大は可能で書いてあって、
1:03:32	ここも何か対応してないような気がするんですけど予備班1台は起動させるんですかさせないんですか。
1:03:48	日本現象の花井と申します。予備不安を1台をさせて、再度、
1:03:54	今一台運用だったんですけどダンパーの風評調整。
1:03:59	漢方司会にすることで、増大を行うことができると。
1:04:04	いうふうに、
1:04:05	考えてます。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:04:07	で、起動してさらにダンパーで調整するっていうことでちょっとそこもわかるような記載にさせていただきたいと思います。
1:04:19	伺いました。ちょっとこちらの記載のをちょっと修正させていただきます。
1:04:25	あとその前の4ページで最新プラントの設計ではって書いてるんですけど。
1:04:31	これ具体的に何をどのプラントをどう調査したんでしょうかなんかもう東海第2項はみんなこうなってますっていうことなんですか。
1:04:45	はい日本原子炉瀬野花井と申します。
1:04:49	東海第2発電所以降ですね、最新の、
1:04:53	BWRプラントですと柏崎東電さんの会社さんか岩野奥な号機、あと主、
1:05:06	女川3の2号機、浜岡4号、志賀2号機、島根2号機さん、こちらの方も江藤1系統と、
1:05:17	と立入になっている状態ですね。
1:05:20	ということを確認いたしました。
1:05:24	ちょっとどういう調査をしてどういう結果だったのかっていうのをもしまとめられればそこもちょっとあわせて教えてください。
1:05:36	はい。日本原子炉発電の花井と申します。こちらの方では、原子、それぞれのプラント、原子炉設置許可申請書、こちらに系統図が載っているんですけども。
1:05:49	副長の系統図から、案を確認して、1系統ですねと、いうふうに、
1:05:58	把握しております。
1:06:11	は原子力規制庁深山です。あと、ちょっとトータルで脳裏、6ページの取り扱いなんですけど。
1:06:17	まずね、本文記載事項に変更がないかであるかっていうなホームをまず記載していただかないとわかりません。
1:06:23	なので本文にどう書いてあるかっていうのを明確にした上で、その記述に変更はないってのを明確にしてください。それと、原発については、
1:06:34	ここに書いてある内容が先ほど言ったように、
1:06:38	改造後でもちょっとつじつまが合っていない状態になって、仮に変更するのであれば、当然、これから出す本文記載事項ではなくても記載の適正化で天端でやらなきゃいけないのでそうすると、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:06:52	それが適切かどうかというのを明確に説明していただければいけないと。その上で、今後出てくる際最新の変更認可なんかの中に、
1:07:03	簿を入れなきゃいけないという、手続きが発生します。
1:07:09	ので、その辺も含めてよく確認してくださいだから、中身の変更手続きとかの検討とか、
1:07:21	何かいろんなものをよく確認した上で、ここの記載っていうのは考えていかなきゃいけないと思うので、事業者の方でよく確認してください。いいでしょうか。
1:07:35	はい二本木車線長内と申します。はい。こちらのツイッター、括弧2種、
1:07:42	日本原燃の中で、ちょっと確認するという形にさせていただきます。
1:07:47	よろしくをお願いします。はい、深山です。私は以上です。
1:07:52	日本原子力発電のアリモリです。本日今補足説明の4をご説明させていただきましたけども、や変更認可申請に必要な前提となる説明ですね、
1:08:05	まずう。
1:08:06	補強する範囲を少し変更しますが、そこが既工認でどう取り扱われていて、そこから変更する理由というのを明確にする必要があると。
1:08:16	ということです。そこを中心にその他の、
1:08:20	ここで確認した点も含めてですね再度整理して、御説明かと思っています。その上で、今後、その前提を確認した上でですね何を変更すべきかまた適用性として何を確認すべきかというところに進むと思いますので、
1:08:34	本日の説明としては以上かと考えますが、東海第2発電所さんいかがでしょうか。
1:08:49	はい弓削城穴井と申します。はい了解いたしました。
1:08:57	はい。原子力規制庁の土肥ですが、それではこれで本日のヒアリング終わりにしたいと思います。どうもありがとうございました。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。